

群 教 セ	E03 - 01
	平22.242集

林間学校指導資料「レッツ・リンカン」の作成と活用

— 教員の組織的な指導の充実を目指して —

長期研修員 今泉 昭治

《研究の概要》

小学校第5学年で実施される林間学校において、運営や指導内容等を関連付けてまとめた教員向け指導資料「レッツ・リンカン」を作成し活用した。基本的には、「効率的な運営」、「教員の連携や協力体制の充実」、「児童への一貫した指導」の三つの視点で工夫した。そのことにより、教員が見通しをもって効率的に運営し、連携や協力をしながら児童への一貫した指導をすることができ、組織的な指導が充実することが明らかになった。

キーワード 【学校行事 林間学校 指導資料 組織的な指導 宿泊的行事】

I 主題設定の理由

小学校学習指導要領（平成20年3月）の特別活動における学校行事の目標には、「望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」とある。

これを受け、協力校では第5学年において林間学校を実施しているが、初めての宿泊的行事であり、平素の学習環境とは異なる豊かな自然環境の中で実施されるため、貴重な体験活動の一つと言える。

その目標は、次のとおりである。

- ・いろいろな活動に進んで取り組み、自然の素晴らしさ、地域や郷土のよさを味わうことができる。
- ・友だちとのふれあいを深め、互いを思いやり、協力して活動することができる。
- ・自分の役割を果たし、公衆道徳を守って、安全を意識して生活することができる。

協力校では、この目標を達成すべく充実した指導を目指している。その中では、集団生活の在り方や公衆道徳等についての望ましい体験をさせることが求められている。さらに、校外において宿泊を伴う教育活動であるため、現地の状況や安全の確認、事故防止のための指導や準備をしなければならない。しかし、林間学校の運営および教員の役割分担や指導内容を関連付けてまとめた資料がないために担当者の負担は大きく、協力体制を整えるのに苦労しているという実状がある。また、安全管理や危機対応等について教員間でより具体的に共通理解していく必要もある。さらに、教員の経験や指導内容のとらえ方の違いにより児童への指導に差が生じてしまうこともある。

これらの課題を整理すると、次のようになる。

- ① 全体指導方針や運営計画、役割分担を明確にした資料が必要である。
- ② 教員の役割分担や指導内容を関連付けてまとめた資料が必要である。
- ③ 教員が同一歩調で指導でき、安全に配慮しながら児童主体の活動につなげられる資料が必要である。

これらのことから①では学年主任が明確な計画を立案し、②では学年会議で全体をとらえた資料を基に共通理解を図り、③ではどの教員も一貫した指導を実践するなど、教員の組織的な指導を充実させることが大切であると考えた。

そこで本研究では、林間学校の全体指導方針や運営計画、指導内容や支援の重点、安全対策マニュアル、児童の気付きや思考を促すデジタルコンテンツ等を組み込んだ林間学校実施のための指導資料を作成し活用することにより、教員の組織的な指導が充実するものと考え、本主題を設定した。

II 研究のねらい

林間学校の運営や、具体的な指導内容を関連付けてまとめた教員向け林間学校指導資料「レッツ・リンカン」を作成し活用する。そのことにより、見通しをもった効率的な運営や、連携や協力による一貫した指導などの教員の組織的な指導が充実することを明らかにする。

Ⅲ 研究の内容

1 基本的な考え方

(1) 「組織的な指導の充実」について

本研究では、「組織的な指導」を次のようにとらえた。

林間学校にかかわる事前、現地、事後の指導において教員が指導目標を共有し、それを達成するために連携や協力をしながら児童への一貫した指導をすること。

「組織的な指導」を充実させるために、次のような三つの視点を設定した。

三つの視点		
視点 a 効率的な運営	視点 b 教員の連携や協力体制の充実	視点 c 児童への一貫した指導
全体指導方針や運営計画、役割分担を明確にして見通しをもった運営を進めることができる。	役割分担や指導内容の共通理解を図ることにより、教員の連携や協力体制を充実させることができる。	学年集会、学級会、係別の話し合い等の指導内容を明確にすることにより、児童主体の活動につながるための一貫した指導をすることができる。

学年主任の明確な計画の立案により視点 a 「効率的な運営」の基盤を作り、学年会議で教員間の共通理解を図ることで視点 b 「教員の連携や協力体制の充実」ができる。それらを基にして、すべての教員が、視点 c 「児童への一貫した指導」を実践できたときに教員の組織的な指導が充実したととらえる。三つの視点と指導の過程を図1のように整理した。

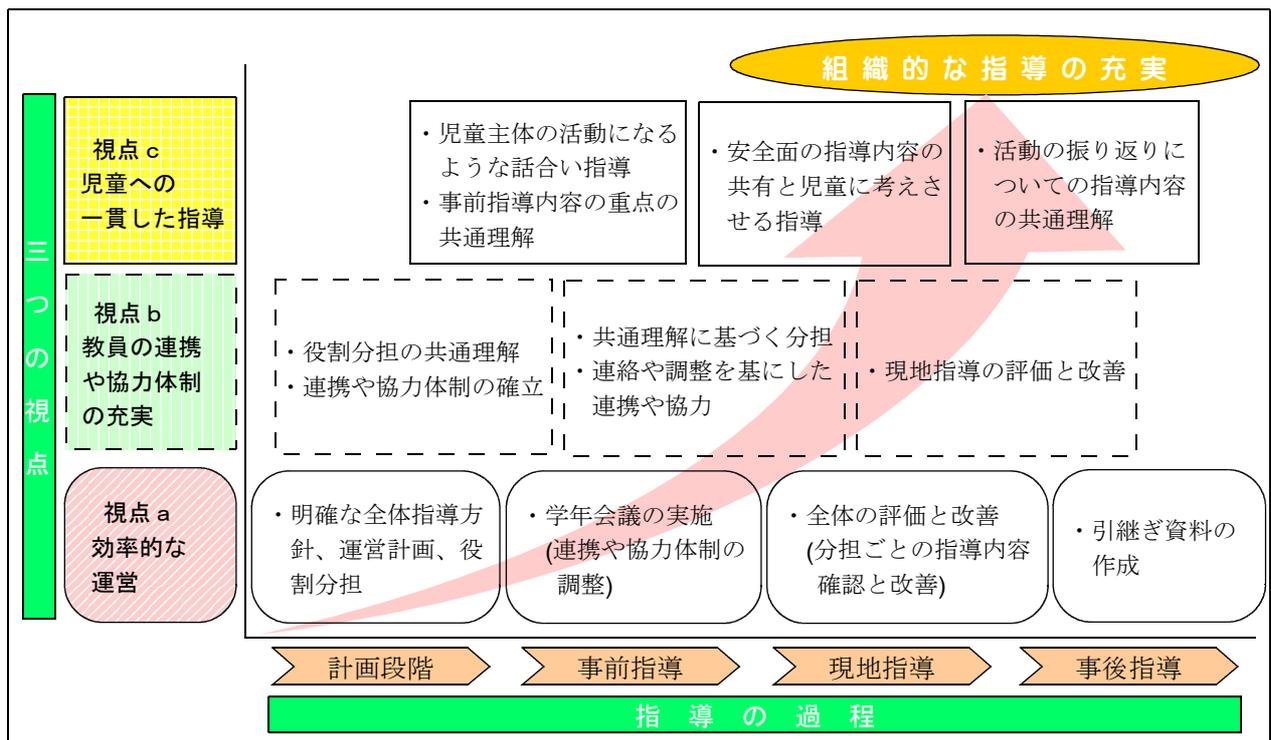


図1 組織的な指導の充実に向けた指導の過程

上記を受け、指導資料を作成するに当たり次の工夫をしていく。

視点 a 学校教育目標や児童の実態に合った指導方針が作成できるようにする。さらに、見通しをもって指導するために、全体の流れや役割分担ごとの動きが分かるようにする。

視点 b 教員の役割分担や指導内容を明確に示すことにより、連携や協力ができる資料にする。また、安全対策マニュアル、指導案、ワークシートおよび様々なデジタルコンテンツ等に関連付けてまとめることにより、具体的な指導内容や活動内容の共通理解を充実させる。

視点c 学級会や学年集会、係別の話し合いで問題点や課題を発見するためのデジタルコンテンツを作成する。視覚的に実際の場面を想定させることにより、児童の気付きや思考を促し、自分の意見を整理して話し合いに臨むことができるようにする。(危険予知トレーニング、常識トレーニング)

(2) 研究の構想

本研究の構想は、図2に示す。林間学校実施上の三つの課題に対応して、三つの視点で「レッツ・リンカン」を作成する。まず、効率的な運営のために、学年主任が本指導資料中のマニュアルを基に全体指導方針や運営計画、役割分担を明確にする(視点a)。その結果、すべての教員が見通しをもって準備や指導に当たることができる。次に、教員の連携や協力体制の充実のために、学年会議において指導内容や支援の重点、安全対策マニュアル等を活用して教員の役割分担や指導内容の共通理解を図る(視点b)。そして、学年集

会、学級会、係別の話し合い等の指導内容を明確にし、児童への一貫した指導を行う(視点c)。これらの三つの視点を踏まえて作成した指導資料「レッツ・リンカン」を活用することにより、組織的な指導を充実させようとするものである。

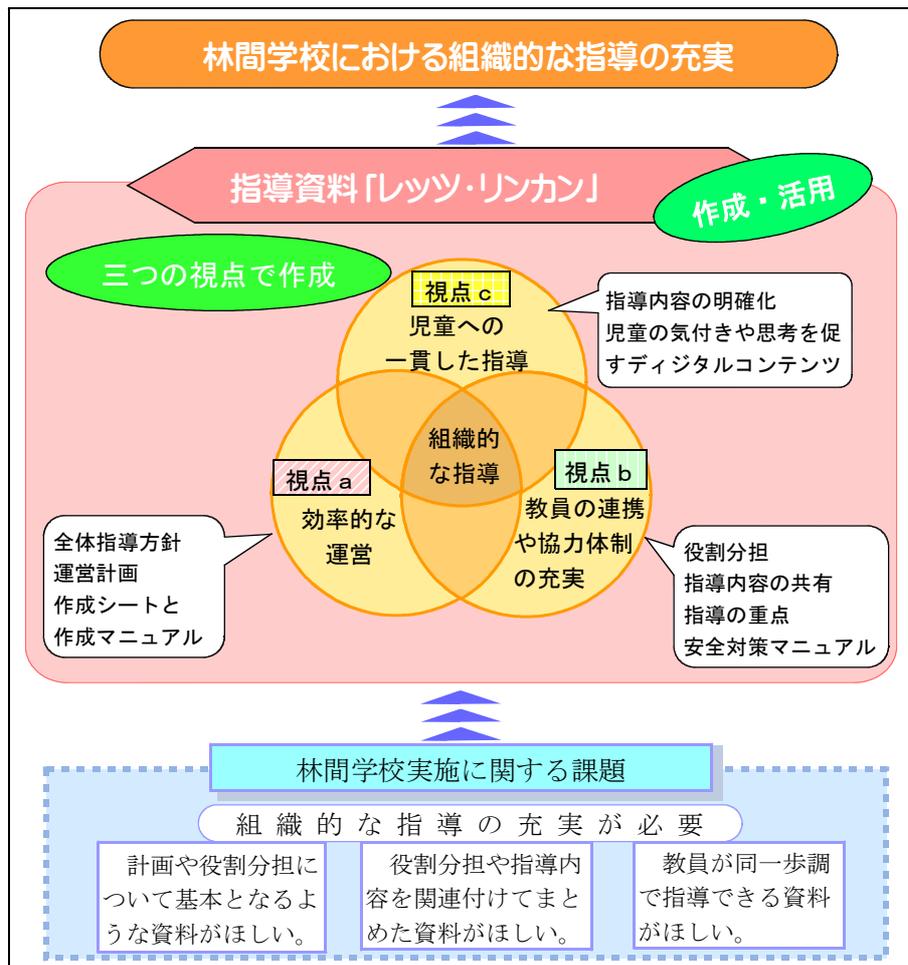


図2 研究構想図

2 教材の概要

(1) 林間学校指導資料「レッツ・リンカン」の内容と構成

本研究における林間学校指導資料「レッツ・リンカン」は、次頁図3のように冊子とデジタルコンテンツで構成される。教員は、冊子を基本として林間学校を企画・運営し、必要に応じて編集可能なデジタルコンテンツを活用して資料等を作成する。デジタルコンテンツは、HTML形式で作成し、冊子の内容をすべて含んでいる。その構成は、「トップページ」、「指導計画のページ」、「運営資料のページ」、「授業のページ」等である。トップページからは、「指導ごとの静止画や動画」のページリンクが設定されている。

デジタルコンテンツ「指導計画のページ」(次頁図3)では、林間学校の事前指導を7~10時間の指導計画の中から学校の実状に合わせて選択することができる。さらに、時間の数字をクリックすると、「授業のページ」へ移動でき、そこでは、授業で使う指導案やワークシートを取り出したり、静止画や動画を再生したりすることができる。また、「運営資料のページ」には、全体指導方針や運営計画等の資料が収められている。

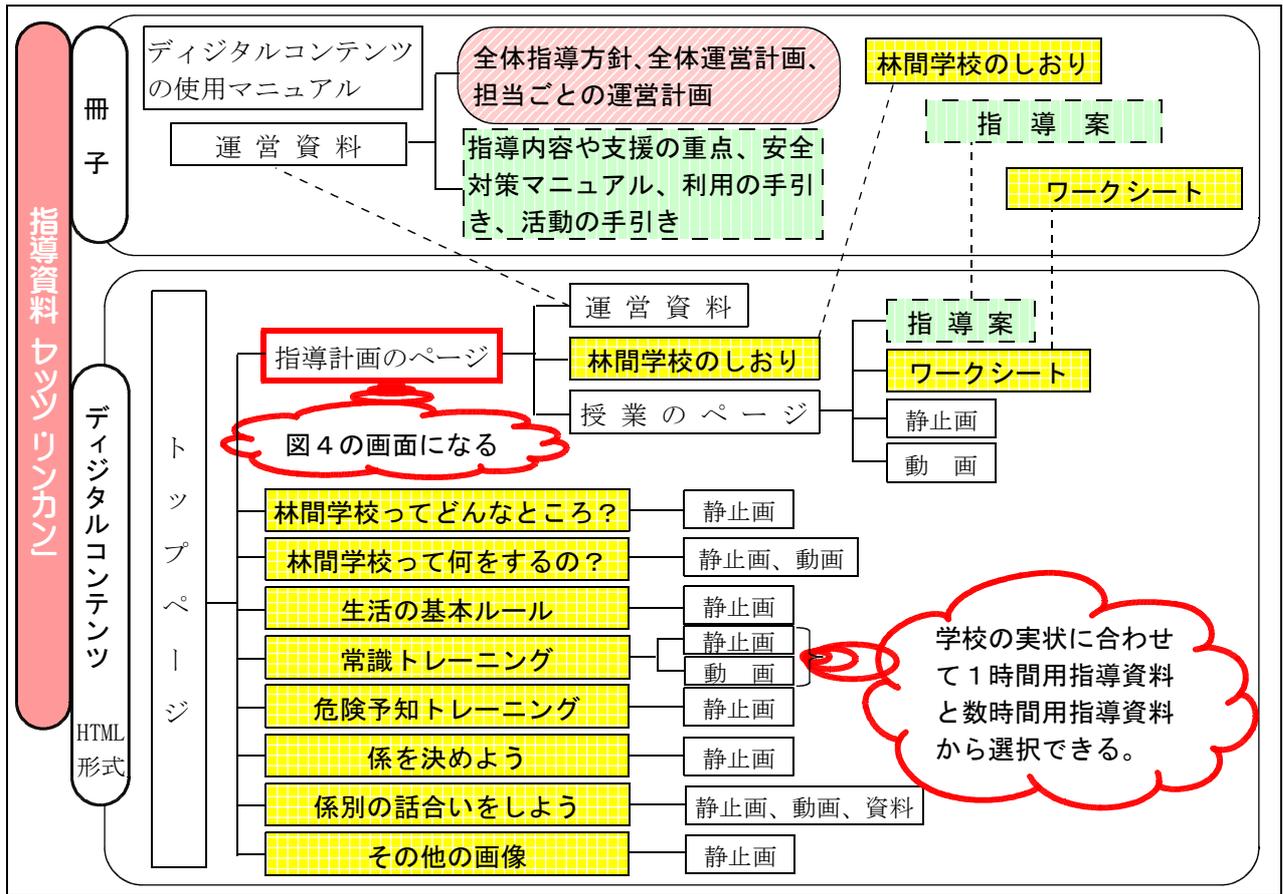


図3 林間学校指導資料「レッツ・リンカン」の内容と構成

指導計画のページ
 授業時間の1~10をクリックすると、授業のページへリンクします。

学校の実状に合わせて
 せた時数を選択
 事後指導のページ

	7時間計画	8時間計画	9時間計画	10時間計画
時	時	時	時	時
内容	内容	内容	内容	内容
林間学校ってどんなところ? 周辺や館内の様子	林間学校ってどんなところ? 周辺や館内の様子	林間学校ってどんなところ? 周辺や館内の様子	林間学校ってどんなところ? 周辺や館内の様子	林間学校ってどんなところ? 周辺や館内の様子
1 林間学校って何をやるの? 開校式、清掃、夕食、就寝、うどん作り、ス プーン作り、など				
生活の基本ルール				2 生活の基本ルール 常識トレーニング【話し合い】
常識トレーニング				3 常識トレーニング【話し合い】 係を決めよう
危険予知トレーニング				4 危険予知トレーニング 【話し合い】
係を決めよう				5 係別の話し合いをしよう
係別の話し合いをしよう				6 準備や練習をしよう
その他の画像				7 準備や練習をしよう
林間学校のしおり				8 報告会をしよう 個人目標を作ろう
運営資料				9 清掃分担、食堂の座席、バスの座 席を決めよう
事後指導のページ				10 林間学校へ向けて最終確認をしよう【学年集会】

運営資料のページ

資料名	主な内
全体指導方針	学校や学年の教育目標や児童の実態に 照らし合わせて決定します。共通理解し、様々な指導
運営計画	運営の行程を明確にして教職員で共有する た準備や指導等を効率的に進めることがで
指導内容や支援の重点	教師の役割分担やその内容を明確にして 携や協力しながら指導することができま
安全対策マニュアル	事故発生時や事故取崩時の基本的な対応 的かつ具体的な事故に対する具体的な対応や事前
準備品チェックリスト	林間学校引率のための必要な物品を事前 に確認
自然の家 利用の手引き	利用する上での、計画、手順、給食、食 事などの事項について書かれています。これを 参考に
自然の家 活動の手引き	八王子自然の自然、野外活動、レク レーション活動について、事前に、活動の基 本、不明な点は、直接自然の家へ相談するこ とを
健康・緊急連絡調査	保護者あてに健康面や緊急連絡先にお き、保護者を中心に集約して、共通理解してお く
健康観察表	保護者・衛生係の児童が、学年や組の児童 の健康状態を報告します。必要に応じて学級 健康状態を把握します。

常識トレーニング

林間学校は、学校とは違った生活がたくさん
あります。友だちや先生に迷惑をかけずに生
活するためにはどうしたらいいだろうか？

係を決めよう

林間学校には、普段の学校とは違う係もあ
ります。みんなで協力しながら、自分の責任を
果たすことによって、思い出に残る素晴らしい
林間学校になるはずです。

図4 「指導計画のページ」

(2) 林間学校指導資料「レッツ・リンカン」の活用の流れとねらい

林間学校指導資料「レッツ・リンカン」の活用の流れは次頁図5のとおりである。

利用の手引きと全体指導方針、運営計画は、学年主任のための資料で、年度初めから計画的に準備

を進めるための資料である。

全体指導方針などの(赤丸)や利用の手引きなどの(緑枠)、さらに林間学校のしおりは、学年会議等で共通理解を図ることにより、教員が連携や協力をしながら指導するための資料である。

(黄枠)は、主にデジタルコンテンツを含む資料であり、危険予知トレーニングや常識トレーニングは、視覚的に実際の場面を想定させることにより、児童の気付きや思考を促し、自分の意見を整理して話合いに臨むことができるようにした。

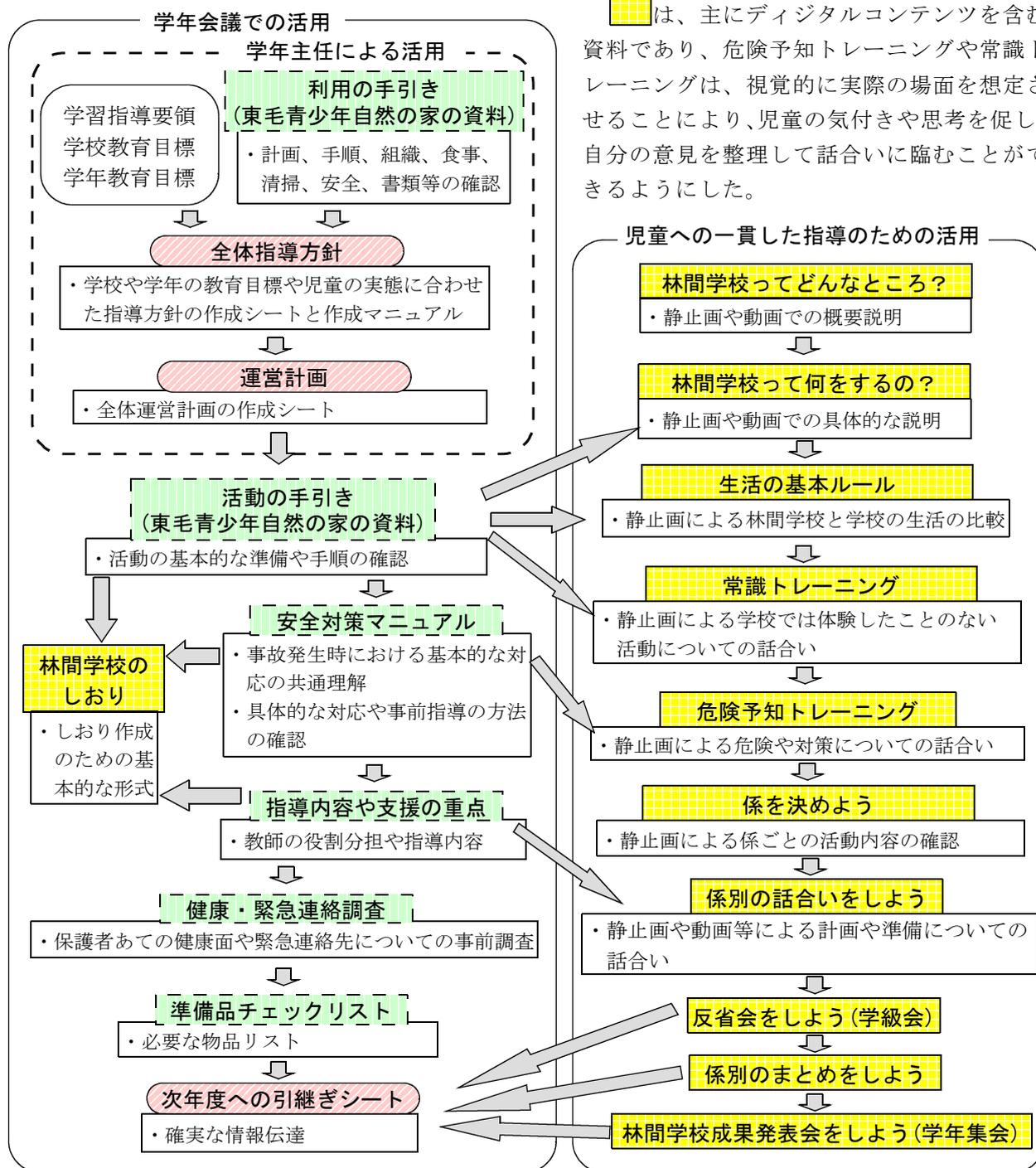


図5 レッツ・リンカンの活用の流れとねらい

IV 研究の計画と方法

1 実践の概要

対象	研究協力校 小学校第5学年 181名
教科等	特別活動(学校行事、学級活動)
時期	平成22年9月～10月
授業者	長期研修員 今泉昭治、協力校学年主任、学級担任、養護教諭

2 検証計画

	検証の観点	検証の方法
視点 a	学校教育目標や児童の実態に合った全体指導方針を基にして運営計画を作成し、教員間で共有したことは、役割分担が明確になり見通しをもった準備や指導等を効率的に進めるために有効であったか。	・教員向けアンケート
視点 b	教員の役割分担や指導内容を明確にしたり、事故のときの具体的な対応や事前指導の方法を確認したりしたことは、連携や協力体制の充実に有効であったか。	・教員向けアンケート
視点 c	全体指導方針を基に学年集会、学級会、係別の話し合い等の指導内容を明確にしたことは、教員が同一步調で指導することができ、児童主体の活動につながる一貫した指導をするために有効であったか。	・教員向けアンケート ・児童向けアンケート ・児童の行動分析

V 研究の結果と考察

1 学年会議での実践

事前指導直前に学年会議①を、事前指導期間中に学年会議②を、林間学校前日に学年会議③を実施した。その概要は、以下のとおりである。**丸ゴシック体**は、本指導資料の内容である。

学年会議①	会議の目的：全体指導方針、運営計画、役割分担等について共通理解を図り、分担を明確にし協力体制を作る。	
	参加者：学年の教員、養護教諭、必要に応じて管理職等	
	主な議題	留意点、 指導資料「レッツ・リンカン」 の活用方法
1	全体指導方針	・ 林間学校の目標 や児童の実態、 全体指導方針 を検討し、共通理解した。
2	全体運営計画	・運営の行程を明確にして教員間で共有することにより、見通しをもった準備や指導等を効率的に進めるようにした。
3	指導内容や支援の重点	・教員の役割分担やその内容を確認するとともに、連携や協力ができる体制を共通理解した上で役割分担を決定した。
4	安全対策マニュアル	・事故発生時や事故収束時の基本的な動き方を確認した。さらに、細かな事故に対する具体的な対応や事前指導の方法を共通理解を図った。
5	保護者会の持ち方	・保護者会の内容や分担を決定した。
6	その他	・本資料中の しおり の基本形式を基に、今年度の しおり の原案を検討した。

学年会議②	会議の目的：指導状況や準備の進行状況を確認し、準備品をそろえる。	
	参加者：学年の教員、養護教諭、必要に応じて管理職等	
	主な議題	留意点、 指導資料「レッツ・リンカン」 の活用方法
1	指導状況や準備の進行状況	・ 運営計画 、 指導内容や支援の重点 等を使って進行状況を確認するとともに、すべての活動について細部にわたり共通理解を図った。
2	情報交換	・ 事前健康調査 の集約を基に、配慮を要する児童の情報交換をした。
3	準備品の用意	・ 準備品チェックリスト を使い必要な物品を確認し、担当者を決めた。

学年会議③	会議の目的：現地での日程や活動、注意点、準備品について最終確認をする。	
	参加者：学年の教員、養護教諭、管理職、他学年からの応援教員等	
	主な議題	留意点、 指導資料「レッツ・リンカン」 の活用方法
1	日程や活動の確認	・ しおり 、 運営計画 、 指導内容や支援の重点 等を使って日程や活動について細部にわたり共通理解を図った。
2	再確認	・ 事前健康調査 の集約を基に、配慮を要する児童の共通理解を図った。
3	準備品の確認	・ 準備品チェックリスト を使い必要な物品を確認し、箱に詰めた。

2 授業実践

丸ゴシック体および□の画像は、本指導資料の内容である。

ねらい：生活における基本ルールを考えたり、常識について話し合うことにより、協力し合って規律正しく生活しようとする。	
活動形態：学級活動 本指導資料の内容： 生活の基本ルール 常識トレーニング	
時	主な活動内容 指導上の留意点、指導資料「レッツ・リンカン」の活用方法
事前指導	1 学級会の目的を把握し、林間学校の生活について見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> 林間学校の生活の中で、学校とほとんど同じものは何か考えさせ、ワークシートに記入させた。 集合や整列、廊下や階段、トイレの静止画を見せ、考えさせた。  
第2時	2 常識トレーニング (1) 入浴  授業の様子 <ul style="list-style-type: none"> 浴室、就寝準備、部屋の整理整とんの静止画を使って、それぞれの場面でどんなことに気を付けたらよいのかについて学級会形式(児童の司会)で話し合いをさせた。班ごとに話し合わせてから発表させ、学年で統一した指導をした。 風呂で体を洗うときには、素早くして、すぐ次の人にゆずったほうがいいと思います。 ふとんをしくときは、場所をゆずり合って、協力しながらするといいいと思います。 ぬいだくつはそろえたほうがいいと思います。 ロッカーを決めるときには、番号順にするといいいと思います。   
	(2) 就寝準備 (3) 部屋の整理整とん 3 自己決定する。 <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の中で、自分が取り組めることを自己決定させワークシートに書かせた。  

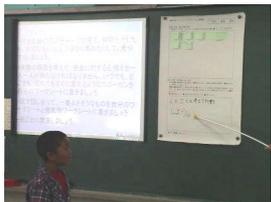
ねらい：常識トレーニングをして、係の活動内容を具体的に理解し主体的に係を選択する。	
活動形態：学級活動 本指導資料の内容： 常識トレーニング 係を決めよう	
時	主な活動内容 指導上の留意点、指導資料「レッツ・リンカン」の活用方法
事前指導	1 常識トレーニング(前時のつづき) (1) 体験学習の時は <ul style="list-style-type: none"> けがをしないように気を付けて、みんなで協力したほうがいいと思います。  
第3時	(2) 消灯したら (3) 朝起きたら 2 係を決めよう <ul style="list-style-type: none"> 寝る前にトイレに行き、静かにしたほうがいいと思います。 静止画等を使ってや係ごとの活動内容を具体的に理解させ、主体的に係を選択できるようにした。 係を選ぶときに、写真を見ることで仕事内容がよくわかり、選びやすかった。(アンケートで89%の児童が「当てはまる」「まあまあ当てはまる」と回答)    授業の様子  

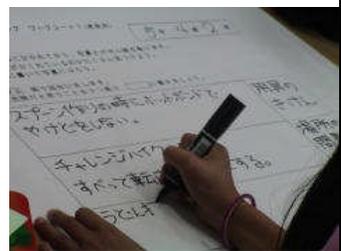
ねらい：みんなで林間学校における危険を発見し対策を話し合い、協力し合って実行しようとする。

活動形態：学級活動

本指導資料の内容：

危険予知トレーニング

時	主な活動内容	指導上の留意点、 指導資料「レッツ・リンカン」 の活用方法
事前指導 第4時	<p>危険予知トレーニングのねらいや話し合いの四つの原則を知る。</p> <p>ステップ1 様々な視点から多くの危険を発見する。</p> <p>ステップ2 危険を絞り込み、分類する。</p> <p>ステップ3 具体的な方策を考える。</p> <p>ステップ4 危険予知スローガンを作成する。</p>  <p>危険予知スローガンの発表</p>	<p>・身の回りにはどんな危険が潜んでいるのかを考えさせ、話し合いにより危険に対する心構えをもたせた。</p> <p>・ブレインストーミングの四原則を活用する。 (1) 個人の意見を批判しない。(討論ではない) (2) 発言は質より量を大切にする。(たくさん言おう) (3) 友だちの意見からヒントを得て発言してもよい。 (4) みんなが自由に発言できる。</p> <p>・チャレンジハイクのときの山道や看板、キャンプファイヤーの様子、うどん打ち、スプーン作りの様子の静止画をそれぞれ3枚程度を見せながら、どんな危険が隠れているのか考えさせる。</p> <p>・班をやらせスクリーンに映した写真を配り、どんな危険が隠れているのかたくさん見付けさせた。</p> <p>・考えられる危険を付せん紙に書かせ写真に貼らせた。</p> <p>・特に危険だと思うことを三つ選ばせ、ワークシートに記入させた。</p> <p>・次の6項目のどれに当てはまるか話し合っ、ワークシートに記入させた。</p> <p>「人の行動」「用具の危険」「服装の危険」「場所の問題」「人の心の問題」「人の体力」</p> <p>・「私ならこうする」というやり方を付せん紙に書かせ、ワークシートに貼らせた。</p> <p>・班ごとに付せん紙の内容を見て、仲間分けしたり、大切なものは上のほうに集めたりして、見やすくさせた。(KJ法)</p> <p>・実際の場面を考えてスローガンを作らせた。</p> <p>・班で話し合わせたところ、児童はワークシートと発表用ワークシートに以下のように記述し、発表した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="603 1503 850 1630" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> 危険な場所は、 急がず安全に！ </div> <div data-bbox="863 1541 1058 1653">  </div> <div data-bbox="1062 1469 1366 1603" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> 団体行動 一人でもはぐれると とっても危険！ </div> </div>



ワークシートへの記入

3 考察

(1) 効率的な運営について

林間学校の全指導終了後、教員向けアンケートを実施した。本指導資料を活用した上での学年主任の回答は次のとおりである。「役割分担や指導内容が明確になったか」、「見通しをもって指導に当たることができたか」という質問に対しては、いずれも「まあまあ当てはまる」という回答であった。また、記述式の回答では以下のような感想であった(抜粋)。

分担した係の仕事をそれぞれの先生方がしっかりやってくれた。指導資料により何をするのか明確にできたので良かった。

さらに、学年主任を含めた6人の教員の回答は、次頁表1、表2のとおりである。以上のこと

から、全体指導方針や運営計画、役割分担を明確にして教員間で共有することにより、学年全体で見直しをもった準備や指導等を効率的に進めることができたと言える。

(2) 教員の連携や協力体制の充実について

「指導資料を活用することにより、いつどのように連携するのか明確になったか」という質問では表3のような結果になった。また、「指導資料を活用することにより、指導内容や支援の重点、安全マニュアル等が共通理解されたか」という質問では、表4のように一部改善につながる意見も出された。

また、記述式の回答は以下のとおりである（抜粋）。

- ・教員同士が話し合ったり確認し合ったりする時間を確保する必要がある。
(3人)
- ・他の係の様子が分かり、全体の動きが把握できた。
- ・危機管理においては、一般論ではなく、具体的な担当や分担に沿ってあるとよい。(表4で「あまり当てはまらない」と回答した教員の回答)
- ・教員の動きが分かる日程表があるとよい。

以上のことから、教員の連携や協力体制を充実させる上で本指導資料が有効であったと言える。そして、担当や分担に沿った分かりやすい資料にするために、全体の動きと係や分担ごとの動きが連動するように改善した。その結果、限られた会議の時間内で教員同士が話し合ったり確認し合ったりすることができる資料となった。

(3) 児童への一貫した指導について

「全体指導方針を基にして学年集会、学級会、係別の話合い等において一貫した指導ができたか」という質問では、表5のような結果になった。また、「どの教員も同一歩調で、一貫した指導ができたか」という質問では表6のような結果になった。また、本指導資料を活用した担任による授業では、デジタルコンテンツを使いながら集団生活上のルールやマナーなどを気付かせたり考えさせたりするなど、児童の気付きや思考を促す一貫した指導が実践されていた。

児童に対しては、事前指導が終わってからとすべての指導が終わってから2回のアンケートを実施した。図6は、「危険予知トレーニングで写真

表1 役割分担や指導内容が明確になった(人)

当てはまる	まあまあ 当てはまる	あまり当て はまらない	当てはまら ない	分からない
4	2	0	0	0

表2 見直しをもって指導に当たることができた(人)

当てはまる	まあまあ 当てはまる	あまり当て はまらない	当てはまら ない	分からない
4	2	0	0	0

表3 いつどのように連携、協力するのか明確になった(人)

当てはまる	まあまあ 当てはまる	あまり当て はまらない	当てはまら ない	分からない
1	5	0	0	0

表4 指導内容や支援の重点、安全マニュアル等が共通理解された(人)

当てはまる	まあまあ 当てはまる	あまり当て はまらない	当てはまら ない	分からない
2	3	1	0	0

表5 全体指導方針を基にして学年集会、学級会、係別の話合い等において一貫した指導ができた(人)

当てはまる	まあまあ 当てはまる	あまり当て はまらない	当てはまら ない	分からない
3	3	0	0	0

表6 どの教員も同一歩調で、一貫した指導ができた(人)

当てはまる	まあまあ 当てはまる	あまり当て はまらない	当てはまら ない	分からない
1	5	0	0	0

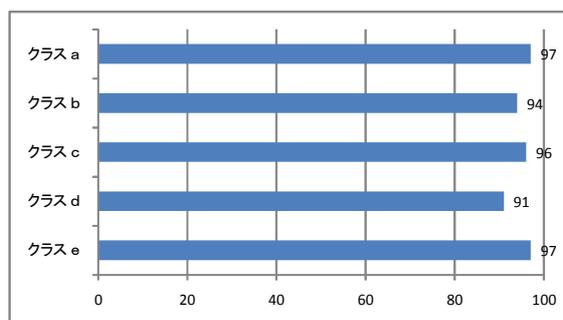


図6 危険予知トレーニングと児童の話合いへの主体的な参加(%)

を見ることで自分の考えがはっきりして、話合いに参加しやすかったか」という質問に対して、「当てはまる」、「まあまあ当てはまる」と回答した児童のクラスごとの割合である。実際の話合いの場面でも、積極的に自らの考えを発表する児童が数多く見られた。

図7は、「危険予知トレーニングで話し合ったことは、実際に役に立ったか」という質問に対して、「当てはまる」、「まあまあ当てはまる」と回答した児童のクラスごとの割合である。い

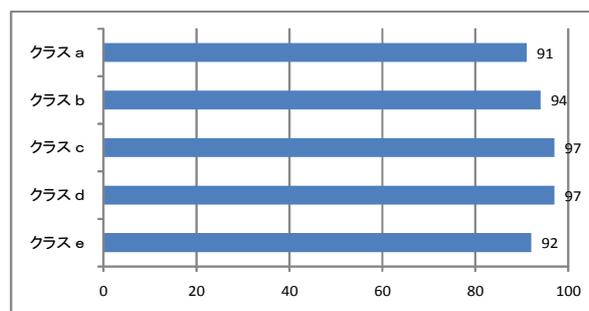


図7 危険予知トレーニングの効果(%)

ずれも、90%以上となり、どの学級でも同一歩調で一貫した指導が実践されたことがうかがえる。

今回の実践では、事前指導における室長の話合いの中で、林間学校のテーマを「協力、安全」に決定した。室長がそれを各学級へ伝達した。そのため、現地での活動の中で、特にチャレンジハイクや体験学習（うどん打ち、スプーン作り）の場面において、安全に配慮しながら協力して取り組む姿が多く見られた。

さらに、各学級での事後指導において林間学校のテーマの達成状況について振り返らせたところ、児童は次のように記述した（抜粋）。

- ・チャレンジハイクのと看、みんなで気を付けながら安全に協力し合えた。
- ・けががなく健康にすごせた。 ・廊下や階段を走らなかった。 ・助け合いができた。

また、係別のまとめでは、次のように記述した（抜粋）。

- ・みんなと協力や助け合いをしたことをこれからの活動に活かしたいと思った。
- ・司会をしたことが自信になった。 ・これからの生活で5分前行動を活かしたいと思った。

これらのことから、本指導資料を活用しながら一貫した指導をすることにより、児童の安全意識や活動意欲等が向上し、児童主体の活動につながったことがうかがえる。

VI 研究のまとめ

1 成果

林間学校指導資料「レッツ・リンカン」を活用したことにより、次のような成果が得られた。

- 学年主任を中心として教員が指導目標を共有し、見通しをもって準備や指導等を行うことができたため、効率的な運営につながった。
- 危機管理や教員同士の関わりを明確にできたため、教員の連携や協力体制が充実した。
- 静止画や動画、様々な指導資料を使って指導内容を明確にできたため、児童への一貫した指導ができた。

2 課題

- 全体の動きについての共通理解はできていたが、それぞれの担当や分担ごとの資料では具体的な動きや予定について不十分であった。それぞれの担当や分担ごとに時系列でどのように活動し、連携、協力していくのか明確にしておく必要がある。
- 本指導資料の汎用性を高めるべく、さらなる改善が必要である。

<参考文献>

- ・群馬県立東毛青少年自然の家 『県立東毛青少年自然の家における安全対策マニュアル』(2010) 『利用の手引き』、『活動の手引き』(2010)
- ・生水雅之、廣瀬元、齋藤徹 著 『教育現場の危機管理マニュアル』 学事出版(2005)
- ・野外安全対策研究会国立オリンピック記念青少年総合センター 『自然体験活動中の安全対策』(1999)